

# コカナダモ モニタリング報告

## 【経過】

コカナダモは炭酸同化作用を行う藻類であり、環境（水質等）を悪化させるものではないが、①外来種であり、在来種を駆逐するおそれがある ②旺盛な繁殖力で密生したコカナダモが水面付近まで生長することで水面の反射率を下げたしまい、観光資源としての裏磐梯湖沼群の魅力を低減させてしまう恐れがある。このような観点から、平成25年より狐鷹森行政区を中心に、各関係機関と連携して曲沢沼の外来生物コカナダモの駆除活動を行ってきた。

一昨年ごろより、曲沢沼下流である曾原湖全体にも大繁茂し、昨年度はボートの出し入れ等も困難であった。今年度は水面に浮葉がでるほどではなかった。当協会では、湖美来基金助成金を受け「外来種駆除活動」の一環として、防除活動を実施した。除去作業の結果（水面の状況）について、継続調査（モニタリング）を行い報告することとする。

当協会では、コカナダモの減少による環境の改善から、地域内外来生物に対する認知度の向上ならびに環境改善を目指した取り組みへの理解促進を図りたい。

## 【概要】

### (1) 実施期日

- |     |            |                             |
|-----|------------|-----------------------------|
| 第1回 | 令和2年6月24日  | 曾原湖南岸、東岸、曲沢沼モニタリング（地点A、B、C） |
| 第2回 | 令和2年7月9日   | 曲沢沼モニタリング（地点C）              |
| 第3回 | 令和2年7月13日  | 曲沢沼駆除活動・モニタリング（地点C）         |
| 第4回 | 令和2年7月14日  | 曾原湖南岸、東岸、曲沢沼モニタリング（地点A、B、C） |
| 第5回 | 令和2年8月5日   | 曾原湖南岸、東岸、曲沢沼モニタリング（地点A、B、C） |
| 第6回 | 令和2年9月10日  | 曲沢沼駆除活動・モニタリング（地点C）         |
| 第7回 | 令和2年9月24日  | 曾原湖南岸、東岸、曲沢沼モニタリング（地点A、B、C） |
| 第8回 | 令和2年10月20日 | 曾原湖南岸、東岸、曲沢沼モニタリング（地点A、B、C） |

### (2) 調査者

鈴木正代、立花千春、立花千秋

### (3) 駆除従事者

協会会員 サポート会員 協会スタッフ 狐鷹森地区皆さん ジオパーク協議会  
北塩原村商工観光課

## 【結果】

### (1) 生育状況

- ・第1回において、曾原湖ではコカナダモは湖沼の水中に繁茂しているが、水面に浮葉はなかった。曲沢沼では水面の10%程度に浮葉がある状態であった。
- ・第2回では、曲沢沼で水面の10%程度に浮葉がある状態であった。
- ・第3回では、曲沢沼において駆除活動をおこなった。コカナダモが水面に繁茂し、駆除活動は船から素手で引き上げることが可能であった。
- ・第4回では、曲沢沼の駆除活動を行った部分に関しては水面に浮葉はなく、コカナダモが減少した。曾原湖全体、水中にはあるが、水面にコカナダモは見えなかった。

- ・第5回では、第3回で駆除活動を行った曲沢沼でコカナダモが水面の15%ほどに繁茂しており、駆除しきれないものが成長したと思われた。曾原湖においては水中に繁茂するものの、水面にコカナダモは見られなかった。
- ・第6回では曲沢沼の駆除活動を行った。曲沢沼のコカナダモは水面に繁茂し、駆除活動は船から素手で引き上げることが可能であった。
- ・第7回では、曲沢沼のコカナダモは沼の5%程度に減少していた。曾原湖では水面に浮葉を見なかった。
- ・第8回では、曾原湖、曲沢沼のコカナダモが激減し、岸から水面上には確認できなかった。

## (2) 景観確保

- ・曾原湖においては、第1回から第8回まで湖全体に浮葉がなく、景観を阻害していなかった。
- ・曲沢沼においては、第6回で水面の約4分の1を浮葉が覆い、景観を阻害していた。

## (3) 水路の確保

- ・曾原湖において、第1回から第8回までコカナダモが水中にあるため、何とか水路は確保されていた。
- ・曲沢沼においては、第6回の駆除活動の折、ボートのオールがコカナダモによって動かせない場所があった。

## 【考 察】

### (1) 生育状況

- ・曾原湖では、明らかな原因は不明だが、今年度は水面を覆うほどの繁茂はしなかった。
- ・曲沢沼では9月になっても水中水面で繁茂しており、枯れる時期が遅いと思われる。今後もモニタリングをしていく必要がある。また曲沢沼は曾原湖より山際にあり曾原湖のような風の影響は少ないと思われ、コカナダモの生育に関して、地形的なことも考慮に入れたい。
- ・曲沢沼では平成25年より行政区を中心として駆除活動を行っている。しかし、依然水面にまで成長するコカナダモがあり、駆除に難渋している。人員や時間の関係で、毎年完全には駆除しきれず、かなり多くのコカナダモが残ってしまい、ちぎれた浮葉が成長してしまうためと思われる。

### (2) 景観確保

- ・曾原湖では水面を覆わなかったため、景観は阻害されなかった。
- ・曲沢沼では、9月中水面でコカナダモが観察できたため、駆除活動を行わなかった場合、秋の紅葉シーズンになって、景観が阻害される可能性があると思われた。今後はモニタリング時期を延ばす必要があると思われた。

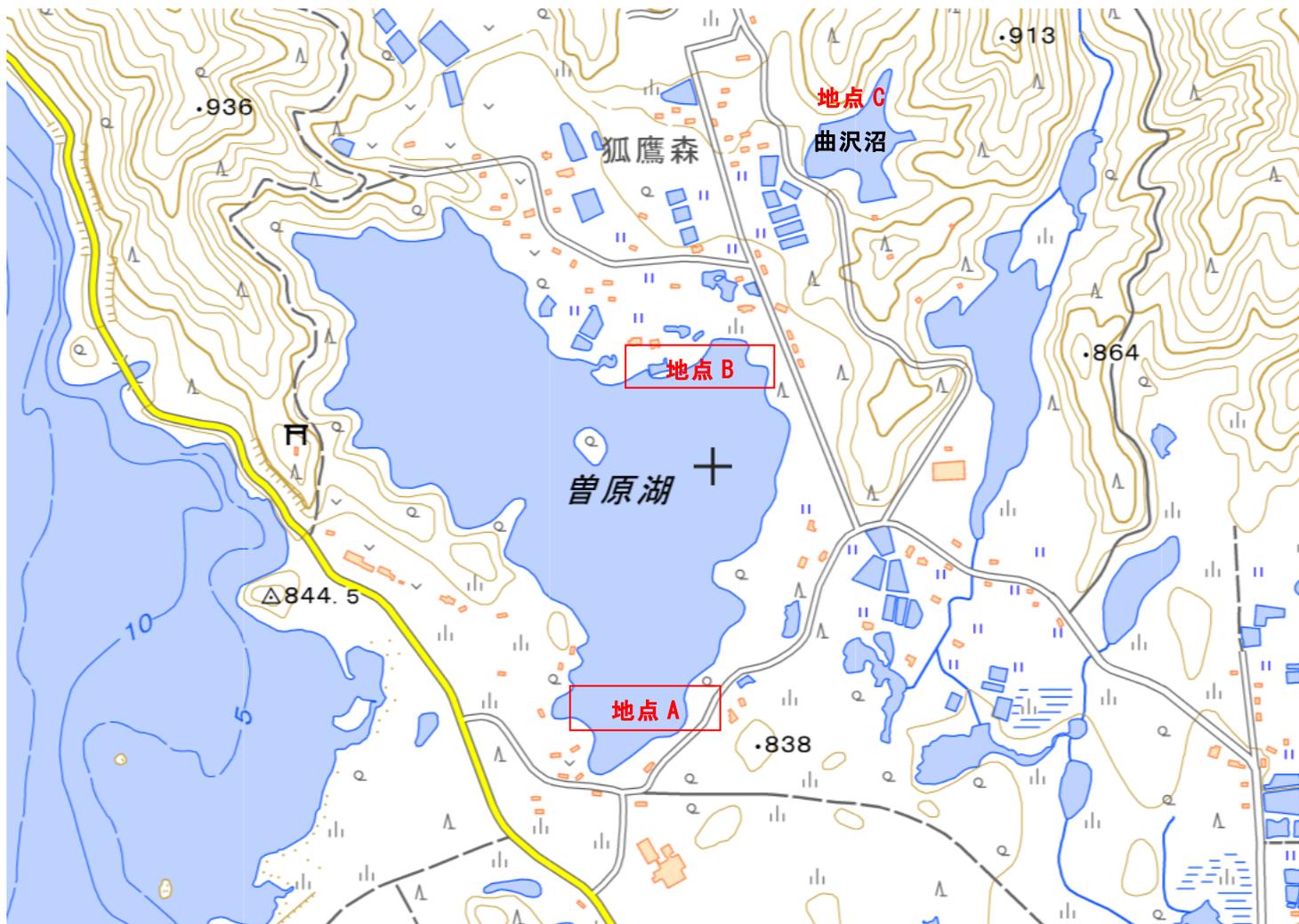
### (3) 水路の確保

- ・曾原湖では、コカナダモが水面になく、ボートの出し入れ、島への近づきなどが容易であった。そのため今年度は観光に影響は出ていなかったと思われた。今年度は、駆除活動を行っていない。
- ・曲沢沼ではボートの貸し出しなどは行われておらず、水路の確保に関しては駆除活動の折に困難となるだけである。

### (4) 駆除活動

- ・駆除活動に関しては駆除活動報告書を参照のこと

・地点図



コカナダモ駆除作業

第1回

日 時 : 7月13日9:00～15:00

場 所 : 曲沢沼 (地点図参照)

作業参加者 ; 19名

駆除したコカナダモ重量: 1380kg

作業前	水中のコカナダモ
	
ボート上での作業	
	

第2回

日 時 : 9月10日 9:00～15:30

場 所 : 曲沢沼 (地点図参照)

作業参加者 ; 19名

駆除したコカナダモ重量: 2530kg

作業前	作業終盤
	
地上班の作業の様子	長熊手を使用した作業の様子
	
ボート作業	作業後の集合写真
	